

令和3年度災害支援コーディネーター養成研修プログラム（中級）

【中級研修の対象者・目的】

対象者	社協職員、行政職員、JC 会員、NPO 職員等等で、「初級編」の受講歴を有している方、または被災地支援活動の経験がある方。また、災害時において災害VCの運営又は運営支援、そのほか、行政等との連携のもと復旧・復興支援活動等を進める役割にある方。
目指すところ	<p>“連携”を中心に、中長期で被災地全体を見渡せる視野を持てるようにネットワーク、組織といった部分を含みながら、コーディネーターとしての立ち位置を理解する。</p> <p><人材像></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆災害 VC 全体を統括、調整できる知識と技術を有し、他団体等の外部資源と連携・協働を図りながら円滑な災害 VC 運営ができる。 ◆災害 VC の設置・閉鎖（転換）及び特異な事象にも、総合的かつ冷静に判断できる。 ◆ NPO や行政など災害 VC 等との連携協働を図りながら災害支援活動を計画・実施できる。 ◆復旧から復興に向けて長期的な視点を持ち、支援活動を行うことができる。

★★★ 日 程 ★★★

▼ 1日目 1/31 (月) オンライン (Zoom ミーティング)

タイムテーブル	テーマ及び担当講師
9:50~10:00	開会・オリエンテーション
10:00~10:10 (10分)	<p>「中級研修のねらい」 目指す人材像、災害VCや避難所といった様々なフィールド、或いは災害時の各フェーズにおける運営支援者の役割を果たすためにこの研修でどんなことを学ぶのかを共有します。</p> <p>▶講師：野村 卓也（中越防災安全推進機構 コーディネーター）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
10:10~11:00 (50分)	<p>「被災地支援活動における感染症対策について」 被災地域での支援活動における感染症対策の基本について理解します。</p> <p>▶講師：丸山 嘉一（日本赤十字社医療センター 国内医療救護部長）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
11:00~11:10	休憩（10分）
11:10~12:00 (50分)	<p>「災害における人・物・資金」 災害VCの運営を支える人・物・資金の仕組みについて共有します。</p> <p>▶講師：清川 祐介（新潟県社会福祉協議会 主事）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
12:00~13:10	休憩（70分）
13:10~14:40 (90分)	<p>「多様なセクターとの連携の必要性和支援者に求められること」 市町村域、県域における平時及び災害時の多様なセクターとの連携・協働について理解し、円滑な支援活動を推進するために必要なコーディネーターの役割について考えます。</p> <p>▶講師：園崎 秀治（Office Sonozaki 代表）</p> <p style="text-align: right;">【座学】</p>
14:40~14:50	休憩（10分）
14:50~16:50 (120分)	<p>「被災避難者を支える」 災害VCを通じた避難所運営への支援や避難所に避難しない、或いはできない在宅避難者への支援について、多様なつながりによる連携・協働を考えます。</p> <p>▶コーディネーター：李 仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）</p> <p>▶パネリスト：松浦 史紀（静岡県社会福祉協議会 地域福祉課長） 松山 文紀（災害支援 NPO MFP 代表）</p> <p style="text-align: right;">【座学・対談】</p>
16:50~17:00	事務局連絡

▼2日目 2/1 (火) オンライン (Zoom ミーティング)

タイムテーブル	テーマ及び担当講師
13:15~13:20	開会・オリエンテーション
13:20~14:50 (90分)	「災害ボランティアセンターにおける IT 活用について」 災害ボランティアセンターにおける IT 化の現状、IT や情報の活用によるボランティアや被災者支援活動の効果的推進等について考えます。 ▶講師：李 仁鉄 (にいがた災害ボランティアネットワーク理事長) 【座学】
14:50~15:00	休憩 (10分)
15:00~16:00 (60分)	「ファシリテーション」 会議やミーティングの進行だけでなく、意見やアイデアを引き出し、方向性を見いだすためのコミュニケーション方法等について考えます。 ▶講師：李 仁鉄 (にいがた災害ボランティアネットワーク理事長) 【座学・個人ワーク】
16:00~16:10	事務局連絡

※新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大に伴いオンラインによる研修に変更いたします。また、一部研修内容の変更を行います。